

2021

日本キャリア教育学会 第43回 研究大会

The 43th Conference of Japanese Society for the Study of Career Education

1 研究大会日程

1日目 11月6日(土)	
12:00~12:45	理事会 オンライン会議
13:00~13:15	開会行事
13:20~14:30	基調講演 「私の進路選択からのキャリア形成」 講師：金丸 雄介 氏（了徳寺大学准教授） <ul style="list-style-type: none">・2001 ミュンヘン世界柔道選手権大会 73 kg級 銀メダル・2007 リオデジャネイロ世界柔道選手権大会 73 kg級 銅メダル・2008 北京オリンピック競技大会 73 kg級 7位・日本オリンピック委員会強化スタッフ・全日本柔道男子シニアコーチ(2008-2021)
14:30~14:40	休憩
14:40~16:10	大会実行委員会企画シンポジウム テーマ「キャリア教育の現在、過去、未来をつなぐもの」 コーディネーター：三村 隆男 氏（早稲田大学 教授） シンポジスト ：才鷹 浩子 氏（金沢市立小將町中学校校長） ：堀口 寿人 氏（寿心理オフィス代表） ：小田與之彦 氏（株式会社加賀屋代表取締役社長）
16:20~17:20	2021 年度定期総会（オンライン）

2日目 11月7日(日)

8:30~14:15	オンライン分科会
9:00~11:55	個人研究発表(口頭) 個人研究発表(ポスター誌面発表への質疑応答)
12:00~13:00	各種委員会 オンライン会議
13:00~14:15	個人研究発表(口頭) 個人研究発表(ポスター誌面発表への質疑応答)
14:15~14:25	休憩
14:25~16:00	研究推進委員会企画、会員企画シンポジウム オンライン会議
16:00~16:10	閉会行事

2 参加要領

■研究大会参加費

2021年10月15日（金）までに、第43回研究大会ウェブサイトに参加申し込みフォームにご記入の上、参加費用をお振込ください。振込が確認できましたら、参加予約手続き完了とさせていただきます。オンラインでの開催のため、事前に登録が必要であり、当日参加はできません。

一般会員	5,000円（発表論文集代込み）
学生会員	3,500円（発表論文集代込み）
非会員（一般）	6,000円（発表論文集代込み）
非会員（学生）	5,000円（発表論文集代込み）

■大会の参加方法

- ・大会はZoomのウェビナーとミーティングを使用します。Zoomアプリをインストールしておいてください。すでにインストールされている方は最新版にアップデートしておいてください。
- ・事前にお知らせしたURLをクリックするか、アプリを立ち上げて、「参加」ボタンをクリックし、IDとパスコードを入力してください。
- ＊参加者の皆様には、全体会、各分科会のZoomのURL、ID、パスコードの一覧を郵送またはメールでお知らせ致します。
- ・参加される方は、ご自身のZoom画面に、所属、氏名を必ずご提示ください。
- ・発表に対する質疑応答や、講演、シンポジウム等の感想やご意見を、Zoomのチャット機能を使って投稿することができます。
- ・参加者には、事前に発表論文集をお届けします。その際に、全体会、各分科会のZoomのURL、ID、パスコードの一覧を同封いたします。

<接続テストについて>

- ・10月30日（土）の13時から16時にオンライン接続テストを行います。接続テストのZoomのURL、ID、パスコードについては、事前にお知らせいたします。

3 基調講演

2021年11月6日（土）13:20～14:30

■ 演題

「私の進路選択からのキャリア形成」

■ 講師 金丸 雄介氏

<プロフィール>

- ・了徳寺大学准教授
- ・2001 ミュンヘン世界柔道選手権大会 73 kg級 銀メダル
- ・2007 リオデジャネイロ世界柔道選手権大会 73 kg級 銅メダル
- ・2008 北京オリンピック競技大会 73 kg級 7位
- ・日本オリンピック委員会強化スタッフ
- ・全日本柔道男子シニアコーチ(2008-2021)



■ 概要

今夏に東京2020オリンピックが開催され、アスリートたちの活躍が大きな話題となりました。アスリートの多くは、目標を設定し、計画的にパフォーマンスを向上させ、結果を手にする資質や能力を持っているにも関わらず、セカンドキャリアの問題を抱えることは少なくありません。私は2008年に北京オリンピックに男子柔道73kg級に出場しました。そして、北京オリンピックを最後に柔道の現役選手を引退しました。現在は千葉県浦安市にある了徳寺大学で教員として働きつつ、現役引退直後から2021年9月までの13年間、全日本柔道連盟で男子のシニアコーチを務めてきました。東京2020オリンピックでは、コーチとして73kg級大野将平選手、81kg級永瀬貴規選手を担当し、両選手の目標であった金メダル獲得を傍で見届けることができました。私自身は、セカンドキャリアへの転身がスムーズにいった方だと思います。その要因は、戦略的にキャリアを形成してきたこと、周囲の人たちからの的確な導きが得られたことだと感じています。今回の講演では、私自身のキャリア形成について、「現在」、「過去」、「未来」に分けてお話させていただきたいと考えています。

「現在」柔道選手(トップアスリート)としてのキャリアや引退後の仕事(セカンドキャリア)について

「過去」現在に至るまでの進路選択の過程や小さな頃の夢や目標、環境について

「未来」今後の私の目標や夢

さらに、全日本柔道男子のコーチとして、多くのトップアスリートと関わってきた経験から見てきた夢や目標を叶えるために必要な資質・能力、そしてトップアスリートが掲げる高次元の目標の達成につなげるコーチングについても触れていきたいと思っています。

4 実行委員会企画シンポジウム

2021年11月6日（土）14:40～16:10

■テーマ「キャリア教育の現在、過去・未来をつなぐもの」

■コーディネーター：三村 隆男 氏（早稲田大学 教授）

■シンポジスト

：才鷹 浩子 氏（金沢市立小将町中学校校長）

：堀口 寿人 氏（寿心理オフィス代表）

：小田 與之彦 氏（株式会社加賀屋代表取締役社長）

■企画趣旨

2015年9月、国連サミットは、国連加盟国193か国が掲げた地球規模の持続可能な開発目標(17の目標と169のターゲット)としてSDGsを採択しました。そして、この目標達成に向け、「SDGsの新しく普遍的なアジェンダの実現に向かう決意」が表明されました。一方、今後、我が国が目指すべき社会として、第5期科学技術基本計画において提唱されたのが、Society5.0の実現です。AIのビッグデータ解析により、ロボットや自動走行車の技術活用を通じて、持続可能な社会の実現とともに経済発展と社会的解決を両立することをコンセプトとするものです。この地球規模での急速な変革の過渡期に、教育においては、次代を生きるために必要なコンピテンシー(competency)に対する意識改革が急がれます。また、その育成の過程における原動力ともなり得る価値観形成においては、その時々の大マジョリティが常識として容認してきた価値観の一方で、それに対するクリティカルな思考と柔軟な対応が求められます。

折しも2020、2021年と、未知の感染症パンデミックは、人類を脅かす歴史的有事を招いております。With CORONA、After CORONAをどのように生きるか。問題の山積する不確実性の社会で、キャリア教育が重視してきた社会・職業への移行、社会的・職業的自立に必要とされるコンピテンシーをどのように考えればよいのでしょうか。

今後、激動の世界に生きていく次世代のために、過去に学び、現在と未来をつなぐキャリア教育の在り方について、実行委員会企画シンポジウムでは、教育、医療福祉、経済等、多面的な視点からご提案を頂きます。

ご参会される皆様にとっても、意義ある情報交換、意見交換の機会となることを願っております。